

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ゴールドマン・サックス毎月分配債券ファンド（愛称 妖精物語）」は、このたび、第161期～第166期の決算を行いました。本ファンドは、日本を除く世界各国の国債、政府関係機関債、社債、モーゲージ証券、アセットバック証券等に分散投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第166期末(2016年6月15日)		第161期～第166期	
基準価額	7,849円	騰落率	-9.19%
純資産総額	66,363百万円	分配金合計	270円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

ゴールドマン・サックス 毎月分配債券ファンド

愛称：妖精物語

(注)「妖精物語」はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の登録商標です。

追加型投信／海外／債券

第161期(決算日2016年1月15日)
第162期(決算日2016年2月15日)
第163期(決算日2016年3月15日)
第164期(決算日2016年4月15日)
第165期(決算日2016年5月16日)
第166期(決算日2016年6月15日)

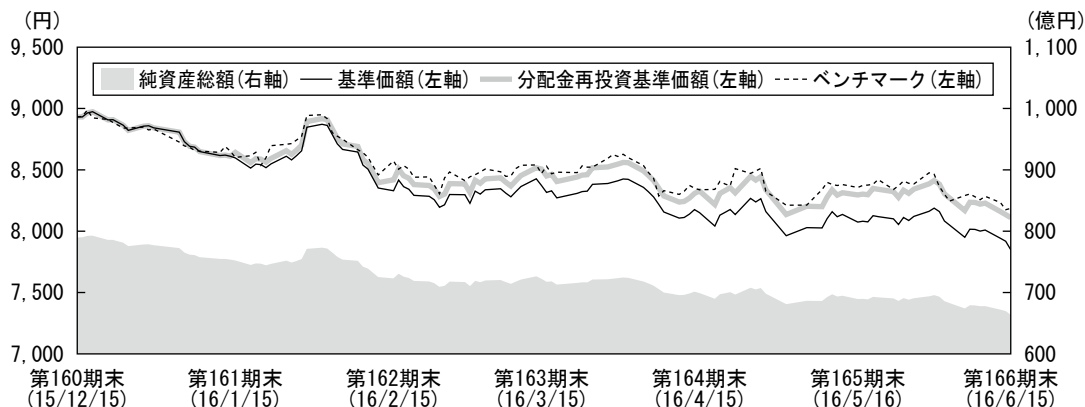
作成対象期間：2015年12月16日～2016年6月15日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000(代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2015年12月16日～2016年6月15日）



第161期首：8,931円

第166期末：7,849円

（当作成期中にお支払いした分配金：270円）

騰落率：－9.19%（分配金再投資ベース）

- （注1）ベンチマークはバークレイズ・グローバル・アグリゲート・インデックス（除く日本、円ベース）です。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の8,931円から1,082円下落し、期末には7,849円となりました。

上昇要因

主要投資対象である米国、ドイツおよび英国の国債利回りが低下（価格は上昇）したことや、保有する債券からの利息収入などが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

主要投資対象通貨である米ドルやユーロが対円で下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。また、分配金をお支払いしたことも、基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

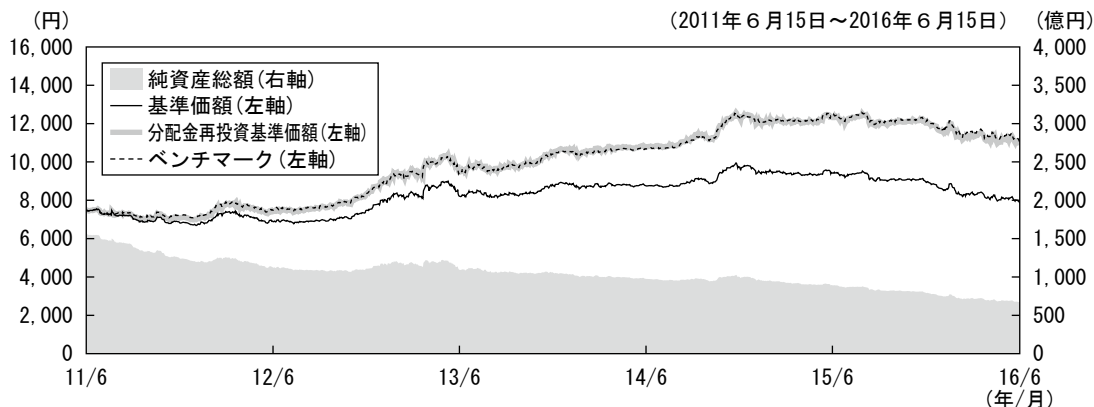
項目	第161期～第166期		項目の概要
	2015年12月16日～2016年6月15日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	48円 (23)	0.567% (0.270)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(23)	(0.270)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
売買委託手数料 (先物・オプション)	0 (0)	0.005 (0.005)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.015 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
(監査費用)	(0)	(0.003)	
(その他)	(0)	(0.005)	
合計	49	0.587	
期中の平均基準価額は8,459円です。			

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2011年6月15日の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2011/6/15 決算日	2012/6/15 決算日	2013/6/17 決算日	2014/6/16 決算日	2015/6/15 決算日	2016/6/15 決算日
基準価額(分配落)(円)	7,499	6,882	8,191	8,743	9,416	7,849
期間分配金合計(税引前)(円)	—	540	540	540	540	540
分配金再投資基準価額騰落率	—	−0.91%	27.70%	13.67%	14.16%	−11.29%
ベンチマーク騰落率	—	−0.33%	26.83%	12.69%	15.91%	−10.25%
純資産総額(百万円)	156,390	112,066	109,099	97,365	89,101	66,363

■ 投資環境について

<海外債券市場>

当期は、主要先進国の10年国債利回りは低下しました。

米国では、期の序盤は、原油価格の下落などを受けて世界的な景気減速懸念が高まったことなどから利回りは低下しました。その後は、米国の追加利上げをめぐる市場の思惑や原油価格の動向などに左右されながら概ね一進一退の展開となった結果、利回りは前期末を下回る水準で期を終えました。ユーロ圏では、期の前半は、2016年1月のECB（欧州中央銀行）定例理事会において、ドラギ総裁が3月の定例理事会で追加の金融緩和を実施する可能性を示したことなどを受けて、利回りは低下基調で推移しました。期の後半は、米国債と同様に概ね一進一退の展開となりましたが、期末にかけて英国のEU（欧州連合）離脱懸念の高まりなどから利回りは低下傾向となり、結局、前期末を下回る水準で期を終えました。

<外国為替市場>

外国為替市場では、米ドル、ユーロなどに対して円高が進みました。

米ドルは、原油価格の下落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる円を買う動きが優勢となったことなどから、期初から円に対して下落基調で推移しました。1月末に日銀がマイナス金利の導入を発表し、対円で上昇する局面もありましたが、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が利上げへの慎重姿勢を示したことや、4月末に日銀が追加金融緩和の見送りを発表したことなどから円に対して下落基調が継続し、前期末比で円高米ドル安となる水準で期を終えました。ユーロも米ドルと同様、日銀がマイナス金利の導入を発表した局面などで一時的に円に対して上昇しましたが、期を通じて円に対して下落基調が概ね継続しました。

■ ポートフォリオについて

<本ファンド>

ゴールドマン・サックス・グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンドの組入れを高位に維持することにより、日本を除く世界各国の国債、政府関係機関債、社債、モーゲージ証券、アセットバック証券等に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指して運用を行いました。

<本マザーファンド>

債券

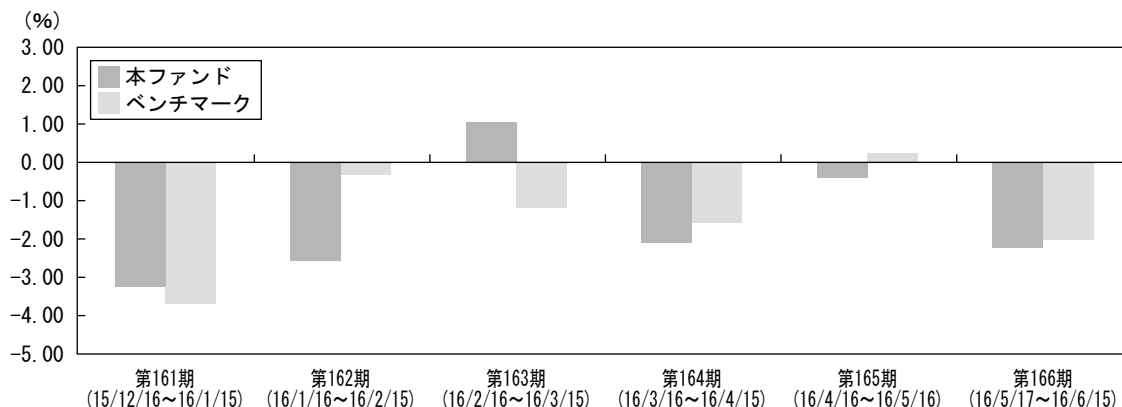
期首においては、デュレーション戦略における米国の短期化ポジションやユーロ圏の長期化ポジション、国別配分戦略におけるユーロ圏のオーバーウェイトに対する米国と英国のアンダーウェイト、セクター配分戦略における社債や非政府系モーゲージ証券のオーバーウェイトなどが主要なポジションでした。一方、期末においては、デュレーション戦略における金利上昇を見込んだ米国の短期化ポジション、国別配分戦略におけるユーロ圏やカナダのオーバーウェイトに対する米国のアンダーウェイト、セクター配分戦略における社債のオーバーウェイトなどが主要なポジションとなっています。

通貨

期首においては、日本円、ニュージーランド・ドルなどをアンダーウェイトとする一方で、米ドルやカナダ・ドルなどをオーバーウェイトとしました。一方、期末においては、カナダ・ドルやニュージーランド・ドルなどをアンダーウェイトとする一方で、米ドルやスウェーデン・クローナなどをオーバーウェイトとしています。

■ ベンチマークとの差異について

<当期の基準価額とベンチマークの対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は－9.19%となり、ベンチマーク（－8.34%）を下回りました。

当期においては、デュレーション戦略、国別配分戦略や個別銘柄選択がプラス寄与となった一方、通貨配分戦略、セクター配分戦略がマイナス寄与となりました。

デュレーション戦略では、ユーロ圏の長期化ポジションなどがプラス寄与となりました。また、国別配分戦略では、ユーロ圏のオーバーウェイトに対する米国のアンダーウェイトなどがプラス寄与となりました。個別銘柄選択では、国債および金利スワップなどの銘柄選択がプラス寄与となりました。一方、通貨配分戦略では、英ポンドやスウェーデン・クロナのオーバーウェイトなどがマイナス寄与となりました。また、セクター配分戦略では、社債の組入れなどがマイナス寄与となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第161期から第166期は各45円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

（単位：円・％、1万口当たり・税引前）

項目	第161期	第162期	第163期	第164期	第165期	第166期
	2015年12月16日 ～2016年1月15日	2016年1月16日 ～2016年2月15日	2016年2月16日 ～2016年3月15日	2016年3月16日 ～2016年4月15日	2016年4月16日 ～2016年5月16日	2016年5月17日 ～2016年6月15日
当期分配金	45	45	45	45	45	45
（対基準価額比率）	0.521	0.537	0.535	0.549	0.554	0.570
当期の収益	16	16	21	14	11	15
当期の収益以外	28	28	23	30	33	29
翌期繰越分配対象額	539	510	486	456	422	392

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

＜本ファンド＞

今後も引き続き本マザーファンド受益証券を高位に組入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。

＜本マザーファンド＞

当社の投資戦略に関して、デュレーション戦略では、米国のインフレ期待が極めて低いものの、バリュエーション面で割高感があることに加え、金融環境が緩和的であること、今後も雇用市場やインフレ基調の改善を見込んでいることなどから、米国の短期化ポジションを継続しています。国別配分戦略では、金融政策の違いなどを背景に、ユーロ圏のオーバーウェイトに対する米国のアンダーウェイトを継続しています。通貨配分戦略では、E C B が量的緩和策を維持するとの見方からユーロのアンダーウェイト、堅調な国内経済が市場に織り込まれていないとの考えからスウェーデン・クローナのオーバーウェイトを構築しています。セクター配分戦略については、社債に対してやや強気の見方を維持していますが、クレジット・サイクルが終盤に差し掛かっている点などについては懸念材料として注視しています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

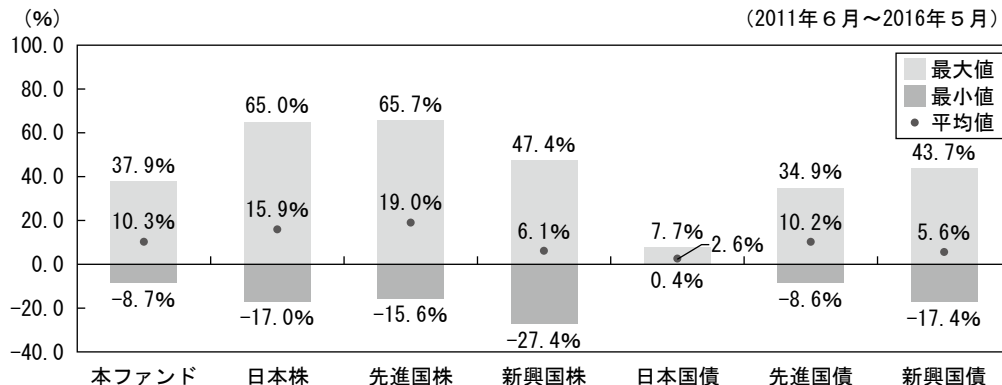
(上記見通しは2016年6月15日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	原則として無期限
運用方針	日本を除く世界各国の投資適格債券への分散投資を通じて、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	ゴールドマン・サックス・グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンドの受益証券
ゴールドマン・サックス・グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンド	日本を除く世界各国の国債、政府関係機関債、社債、モーゲージ証券、アセットバック証券等
運用方法・組入制限	①主としてマザーファンドの受益証券に投資し、原則として、その組入比率は高位に保ちます。 ②本ファンド及びマザーファンドにおける組入制限は下記のとおりです。 ・外貨建資産への投資については、特に制限を設けません。 ・デリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎月15日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年6月から2016年5月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年6月15日現在）

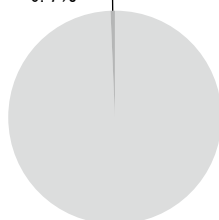
○組入れファンド

（組入銘柄数：1銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンド	100.7%

○資産別配分

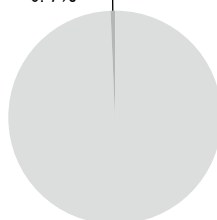
その他現金等
-0.7%



マザーファンド受益証券
100.7%

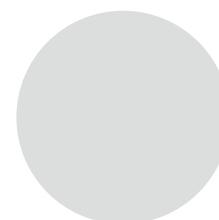
○国別配分

その他現金等
-0.7%



日本
100.7%

○通貨別配分



日本円
100.0%

（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

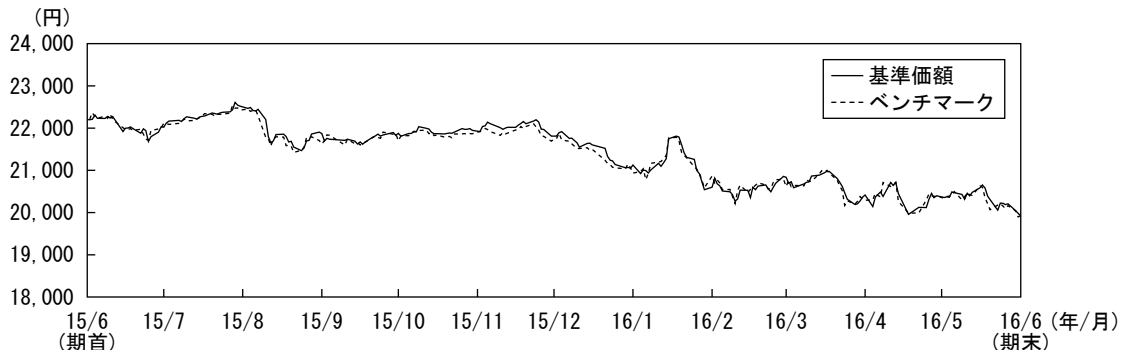
項目	第161期末	第162期末	第163期末	第164期末	第165期末	第166期末
	2016年1月15日	2016年2月15日	2016年3月15日	2016年4月15日	2016年5月16日	2016年6月15日
純資産総額	75,223,893,485円	72,306,091,246円	72,244,812,320円	69,912,905,703円	68,941,547,245円	66,363,217,511円
受益権総口数	87,500,484,776口	86,802,645,761口	86,289,332,766口	85,768,891,467口	85,382,555,332口	84,551,605,268口
1万口当たり基準価額	8,597円	8,330円	8,372円	8,151円	8,074円	7,849円

（注）当作成期首元本額は88,454,214,099円、当作成期間（第161期～第166期）中において、追加設定元本額は898,182,369円、同解約元本額は4,800,791,200円です。

■ 組入上位ファンドの概要

ゴールドマン・サックス・グローバル・アグリゲート（除く日本）マザーファンド（2016年6月15日現在）

○基準価額等の推移について（2015年6月16日～2016年6月15日）



（注1）基準価額等の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

（注2）ベンチマークはパークレイズ・グローバル・アグリゲート・インデックス（除く日本、円ベース）です。

（注3）ベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

○ 1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （先物・オプション）	2円 (2)
その他費用 （保管費用） （その他）	3 (3) (0)
合計	5

（注1）1万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。

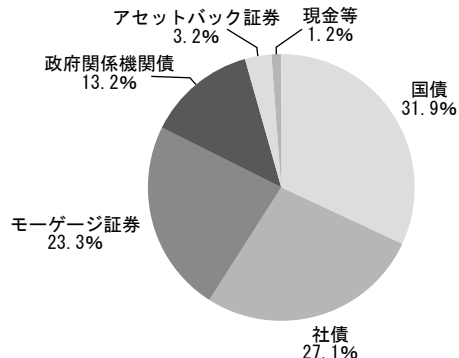
（注2）1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については2ページ（1万口当たりの費用の明細の項目の概要）をご参照ください。

○債券特性値

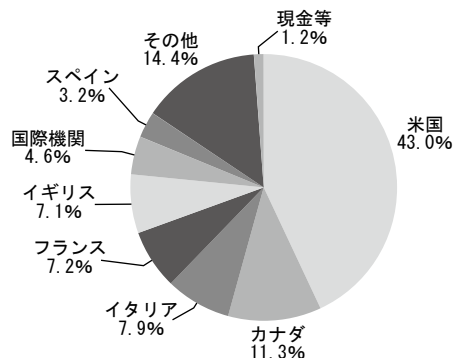
最終利回り : 1.78%

デュレーション : 6.03年

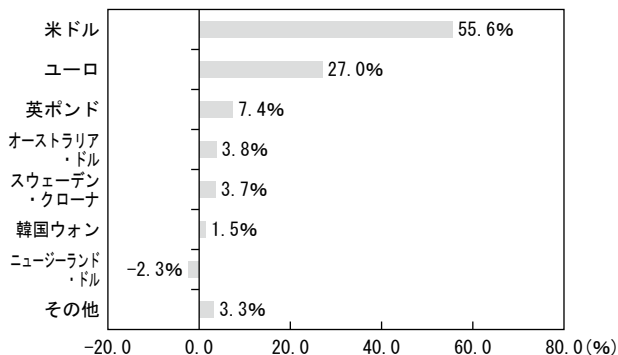
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 854銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	カナダ国債 0.75% 2021年3月1日	国債	CAD	7.2%
2	フランス国債 1.75% 2024年11月25日	国債	EUR	2.6%
3	イタリア国債 2.15% 2017年11月12日	国債	EUR	2.6%
4	ジニーメイ 4% 2046年7月1日	モータージ証券	USD	2.4%
5	アメリカ国債 0.625% 2024年1月15日	国債	USD	1.8%
6	スペイン国債 3.8% 2024年4月30日	国債	EUR	1.6%
7	イタリア国債 2.35% 2024年9月15日	国債	EUR	1.5%
8	フランス国債 4.5% 2041年4月25日	国債	EUR	1.4%
9	フレディマック 6.75% 2031年3月15日	政府関係機関債	USD	1.3%
10	デクシア・クレディ・ローカル 0.04% 2019年12月11日	政府関係機関債	EUR	1.3%

(注1) 債券特性値、資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位10銘柄のデータは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。

(注2) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。